

## 第1回会議でいただいたご意見について

## 前文

- 治験等臨床研究と並んで、コホート研究等の疫学研究の重要性も具体的に記載できないか。
- 国立高度専門医療センターに期待される役割の1つとして、疫学研究等による日本人のエビデンスの収集について前文に記載。
- 国際水準の研究成果はあくまで前提であり、世界をリードするナショナルセンターとなることへの期待を記載できないか。
- 国際水準の成果を継続的に生み出すことにより、世界をリードすることの期待を前文に記載。

## 第2 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

- 「2. 医療の提供に関する事項」の治療選択の自己決定について、医療者とともに患者が自己決定するとの趣旨を追加できないか。
- 医療者とともに患者・家族が治療の選択、決定を主体的に行えるよう、記載を追加。
- 「4. 医療の均てん化並びに情報の収集及び発信に関する事項」について、がん対策情報センターの実績を念頭に置いて、患者支援につながる情報発信が期待される旨、追加できないか。
- 医療従事者や患者・家族が信頼のおける情報を解りやすく入手できるような、情報発信を行うよう、記載を追加。

## 第3 業務運営の効率化に関する事項

- 「適正化」という用語について、「縮減」等具体的な基準を明らかにすべきではないか。
- 今後の医療技術の高度化等を勘案し、目標では「適正化」とする。
- 一般管理費についての取扱いを具体的に記載すべきではないのか。
- 詳細については今後関係府省との調整を必要とするが、中期計画において一般管理費の節減について記載。

## 第4 財務内容の改善に関する事項

- 「適正」という用語について、「縮減」等具体的な基準を明らかにすべきではないか。
- 固定負債について償還確実性を確保できる水準とするよう、記載を追加。また、中期計画において予算、収支計画、資金計画を示し、厚生労働大臣として承認することにより、求められる水準を具体化。

## 別紙

- 治験等臨床研究と並んで、コホート研究等の疫学研究の重要性も具体的に記載できないか。
- 「1. 重点的な研究・開発戦略の考え方」に高度先駆的な医療の研究・開発と併せて、疫学研究等による日本人のエビデンスの収集を記載。
  
- 重点化すべき治験の相など、より研究の方向性を具体化すべきではないか。
- 治験等臨床研究について、単に数値目標を設けるだけでなく、中期目標期間中の期待される成果をより具体化すべきではないか。
- 治験等臨床研究のうち、高度に専門的な知識や経験が要求される等実施に困難を伴う治験・臨床研究の実現を目指した研究や、国内では未承認の医薬品、医療機器についての治験等臨床研究を推進することにより、数値目標を達成することを考えている。
  
- 患者支援手法についても研究課題として、具体的に記載できないか。
- 「(2)均てん化に着目した研究」において、がんに対する正しい理解の促進と併せ、患者・家族に対する支援の質の向上を企図した、情報発信手法の開発を行うよう、記載を追加。